

かがやく渋谷

新年
謹賀新
渋谷区議会自由民主党議員団

あけまして
おめでとうございまます

日頃より私ども自由民主党議員団に、温かいご支援、ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルスは、昨年さらに猛威を振るい、国民生活に多大な影響を及ぼす中においても、オリンピック・パラリンピックが無観客で大過なく実施され、多くの感動を与えてくれました。

このような中、感染症対策を徹底して行われた都議会と衆議院の二大選挙において、自民党がいずれも第一党に選ばれましたことは、引き続き感染症対策と経済の再生を皆様から託された結果と、改めて気を引き締める一年となりました。この感染症も年末になり、ようやく沈静化の兆しが見えてきたところですが、新たなオミクロン株の発現により、本年も引き続き感染予防が求められる年となりそうです。

区政の課題については、高齢者福祉では、昨年新設された「恵比寿西二丁目施設」及び「かなみの杜・渋谷」の本格稼働による福祉サービスの提供、障がい者福祉では、「神宮前三丁目障がい者施設」の建設など、福祉施設の整備と地域共生社会の実現に向けた福祉サービス全般の充実をさらに進めて参ります。

子育て支援では、個々の要望をしっかりと把握して支援するため、「渋谷区子育てネットワーク」を拠点として、妊娠期から十八歳に至るまで、子育ての相談と支援体制の充実に努めて参ります。

教育については、ICT機器の活用を更に深め、渋谷区独自の効果的な教育の推進と教職員の負担軽減を図ります。また本区の歴史や文化の考察を通じて本区への郷土愛の醸成を図る「シブヤ科」の推進や、「渋谷ならではの部活動改革」を目指して設立された一般社団法人「渋谷ユナイテッド」による専門的プログラムの提供など、生徒の多様な要望に応える新たな試みを本格稼働させて参ります。さらに制定された条例に基づき「いじめ」への対応も強化してまいります。

自由民主党議員団は、渋谷を守る責任会派として、「誰もが安心して住み続けるまち渋谷」の実現に向け、区民の視点に立った区政の推進に、議員団一同全力で取り組むことをお誓いし、新年年頭のご挨拶と致します。

私たちには実現します！

- 新型コロナウイルス感染症対策を強化し、接種・予約受付体制を整備し、ブースター接種を推進します。
- 災害発生時に備え、区職員の派遣増員体制を拡充し、災害時要配慮者や障がい者(児)の避難体制を確立させるとともに、二次避難所の充実を図ります。
- 防犯カメラの設置においては地域の要望を踏まえ、効果的な増設を推進します。
- 区内未設置の各駅へのホームドアやエレベーターの設置を、関係者と協議の上推進します。
- 落書き対策については引き続き予算措置を講じ、体制整備を図ります。
- 高齢者のデジタルデバイド対策強化のため、スマートフォンの使い方研修を充実させるなど、定着のための施策を推進します。
- 不妊治療の高額な経済的負担軽減のため、国の助成に区独自の上乗せ助成実施を実現します。
- 渋谷区子育てネットワークを総合的支援の基幹施設として活用し、妊娠期から十八歳までの子育て家庭を対象にした総合的支援を充実させるとともに、児童虐待防止のための施策をさらに強化します。
- 引き続き待機児童ゼロを継続させるために、あらゆる資源を活用し、保育の質の向上を図ります。
- いじめ防止対策として、条例制定を契機に、区・教育委員会・学校・保護者の連携体制を強化します。
- オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、障がい者に対する理解を更に醸成させるためにも、パラスポーツの普及を目指します。

